

Horizon Illumination Lab Optics

光診断薬Picklesで患者さんの未来を明るく照らす

「どれが、私に効く薬？」

慢性骨髄性白血病（CML） は、日本国内で最も患者数の多い白血病です。治療には、保険収載された5種類の分子標的薬が使用されますが、患者さんによって効果や副作用が異なることが、治療を進める上で課題となっています。

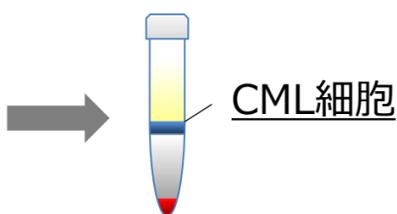
- ◎ これから飲む薬は本当に効くの？
- ◎ 副作用が辛いから、お薬を減らしたいけど大丈夫？
- ◎ そろそろ休薬できる？
- ◎ ジェネリックに替えてもいい？など、患者さんや担当医師のお悩みを



☑ **光診断薬Pickles** が解決します！

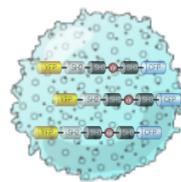
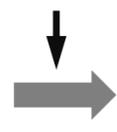
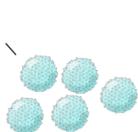
- ・ PicklesはFRETの原理を利用したBCR-ABL活性測定バイオセンサーです。
- ・ 遺伝子変異等に関係なく、抑制薬の効果のみを光の色で（青 or 黄）判定します。
- ・ 特許取得済（2件）

患者さんの骨髄液



CML細胞

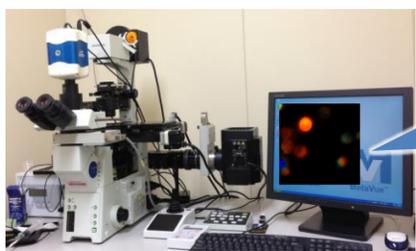
Pickles遺伝子導入



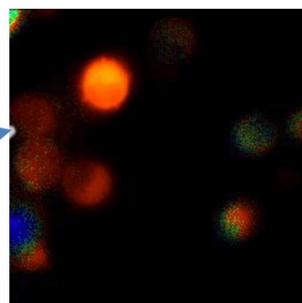
候補薬剤で処理



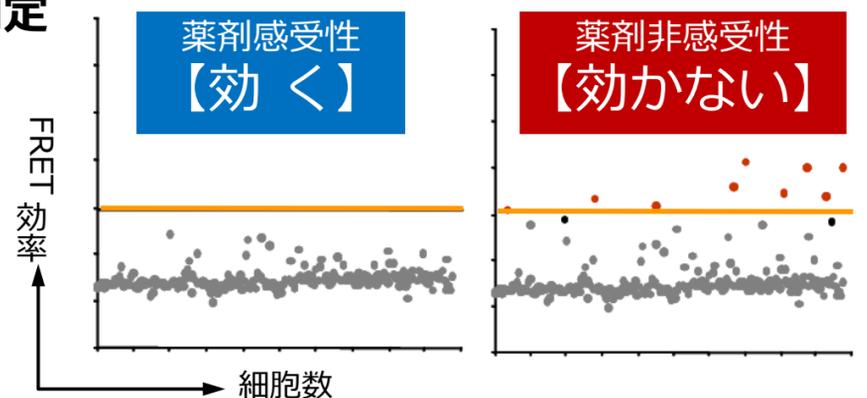
撮像



画像解析



効果判定



初診から7日間でわかる、
「これが、私に効く薬！」



連絡先：北海道大学 大学院医学研究院細胞生理学教室 大場雄介・天野麻穂

(011-706-5158, HILO@med.hokudai.ac.jp)